

# 市政を問う!

第2回定例会

# 一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



## 水道事業について

**問** 最も古い埋設管は42年が経過しているとのことだが、破損した場合の対応は。

**答** 破損により漏水が発生した場合は、市内30事業所で構成している旭市水道工事組合と連携し、休日や夜間であっても迅速に復旧工事を行う体制を整えている。断水を伴う場合には、給水車や給水バッグによる非常時の給水体制も整えている。

**問** 大規模な断水が生じた場合には、給水車だけでは対応が厳しくなると考えるが、ループ化も含めて、近隣市との連携を考慮すべきでは。

**答** 近隣市町とのループ化は、各市町の水道施設の供給能力に他市を応援できるほどの余力がないので難しい。断水時の近隣市との協力体制はこれまでどおり維持していく。

**問** 埋設管を更新するための概算費用は。また、水道料金



菅谷 道晴 議員



への影響はあるか。

**答** 10年間で約60億円を見込んでいる。現在の水道事業ビジョンでは、計画期間内での水道料金の改定は不要と試算している。

**問** 旭市は水道料金が高いと言われているが、水道料金を抑えるために財政調整基金を活用することはできないか。

**答** 本市では水道料金を抑制するため、一般会計から水道事業会計に基準外の繰り出しを既に行っている。地方公営企業法の独立採算という原則に従い、水道事業会計の中で計画に沿った事業運営、経営努力を行ってもらい、その上で今後の状況を見ながら判断する。



上下水道課が入っている旭市浄化センター